1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2020 年 6 月 27 日発行　SSKR 通巻第 8988 号

SSKR

にじの会だより

Vol.74

社会福祉法人　にじの会

理事長　石崎　優仁

〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－3

TEL 0422-39-2411

FAX 0422-39-2412

ホームページ：nijinokai.org

新型コロナウイルス感染対策の取組み状況について

にじの会理事長　石崎　優仁

昨年末からの新型コロナウイルス感染は地球全体に拡大し感染者は１３００万人を超える状況です。日本では２月末から感染が拡大し学校休校が始まり、４月７日には緊急事態宣言が発令されて一月半以上事業や施設の休業と８割の行動減少が要請されました。新規感染者の減少と医療逼迫の改善により５月２５日に宣言解除となり、感染の第一波はなんとか乗り越えました。今後は感染防止に注意しながら日常の生活をする with コロナの時期に入りましたが、各種規制が解除される中で新規感染者が急増しており、秋冬季を待たず再度の大量感染の可能性があります。

にじの会でも、対策本部を設置し感染予防の徹底と以下の感染防止策を実施してまいりましたが利用者・ご家族・関係の皆様のご協力により、現在まで施設内感染の発生は防止することができております。

１．大沢にじの里・ホームは生活支援事業を継続し、余暇外出等の自粛と希望者帰宅時の感染予防策を徹底しました。

２．生活介護事業（大沢にじの里・にじアート）は活動時間の短縮と一部通所者の在宅支援を実施しました。

３．就労支援事業（未来工房・ハーモニー）は利用者の在宅ワークと短時間勤務を実施し、４時間分程度の給料工賃を支給して収入保障も実施しました。喫茶・レストラン事業は２カ月休止しました。

４．児童の放課後等デイサービス事業は３カ月の学校休校期間中６～８時間の日中支援を実施し、学校の代行をしました。

５．短期入所事業（大沢にじの里）は通所利用者は２カ月・一般利用者は３カ月休止しました。

６．地域貢献の買物送迎支援事業は週１回の買い物代行に変更して実施しました。

７．各事業ともに、施設外での活動を休止し、公共交通機関利用を避けて他人との接触をできるだけ減らすとともに、施設内での密を避けるように活動グループを増やしています。

８．事業運営の感染防止策と同時に、利用者の感染予防策・施設入館規制・職員の感染予防と健康管理を継続して実施しました。

宣言解除後、６月に徐々に事業運営の規制を減らし、７月からは通常の運営に戻っていますが、３密を避ける日中活動、人混みへの外出禁止、施設入館規制等の接触感染・飛沫感染防止策は継続しています。また、地域交流が目的の「にじの会まつり」「にじアート夏まつり」は、今年は中止することにいたしました。

７月に入り新規感染者が増加している状況もあり、今後の第二波・第三波の感染拡大に備え、東京都や全国の検査体制や医療体制・感染者隔離体制等の強化が早急に進められることを願っています。　にじの会でも感染予防策の継続と感染発生時の検査・医療・隔離等の体制準備を BCP 計画として進めてまいります。皆様のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。

＜各事業の新型コロナウイルス感染対策の取り組み＞

1．施設入所支援（大沢にじの里）

職員、利用者ともに手洗い、マスク着用（利用者は出来る方）、健康チェックをより細やかに実施しています。利用者の方が自宅に帰宅の際には、帰宅中の電話による健康相談の実施、大沢にじの里帰所時には玄関にて医務スタッフと一緒に検温等、健康チェックをさせて頂いています。また、施設内の消毒、定期的な換気を実施し、来訪者の入室を禁止しています。短期入所は５月までは休止し、６月も通所利用者のみに制限しました。

５月までは利用者の方の外出を中止しました。６月からは人の少ない場所に限定し少人数での散歩等を実施しています。運動不足やストレスを緩和するために、４・５月は日中活動の人数制限のため工房参加しない利用者の方に屋上運動や美術活動、音楽活動を提供しました。また休日には調理実習等の館内でできる余暇活動を実施しました。

スタッフ研修としては、実際に防護服の着用、フェイスシールド、ゴーグル等の装備のやり方を学び、コロナウイルス感染者の介助実習をしました。《スタッフ研修会より》

（施設入所支援　田中克樹）

2．地域生活支援（ホームにじ・にじの森・にじの空）

タッチポイントの定時消毒と靴の裏にウイルスが付いている事も考えられる為、次亜塩素酸ナトリウム（キッチンハイター）を浸み込ませた玄関マットの設置や靴裏の消毒、夕方帰所時の手洗い・うがい、手指消毒と検温を実施しています。また、食事前の手指消毒や休日の朝・昼・夕の検温の実施で、発熱等が有った場合は医務室連絡後に医療機関への通院を実施しています。特に近隣の「のざきはちまん前内科クリニック」は 12 時～13 時に発熱外来を開設していますので、スムーズな受診をする事が出来ています。ゴールデンウィーク帰省期間や週末帰宅に関しましては、無理の無い範囲で帰宅して頂きましたが、今年はホームに残って生活を送る方が多くなりました。

日中活動での在宅ワークや輪番制通所のため、ホームに利用者の方が残った場合、日中スタッフや専門スタッフの参加により、ストレッチや美術・音楽、在宅ワークの補助等とホーム内でも利用者の方とスタッフのコミュニケーションの場が確保され生活リズムを維持できていました。

また、４・５月の週末は買い物外出やガイドヘルパー外出は控えて頂き、ホーム内で安全に過ごして頂きましたが、６月から徐々にホーム外の活動を安全を確保しながら再開しつつあります。

（地域生活支援　下山唯人）

3．放課後等デイサービス（にじアート）

３カ月の長期休校に対応し、にじアートも日中支援を実施してきましたが、ようやく６月からは徐々に分散登校が始まり、特別支援学校等から放課後デイを利用する流れになってきました。
下校の際、検温・手指消毒を乗車時に行い、にじアート到着時も手洗い・検温を行います。
おやつを食べる前にも手洗いを働きかけてきたことで、自然と手を洗う姿が見られています。
帰りの会ではイラストを用いて手洗い・マスクの着用・水分補給など呼びかけ、子どもたちへ意識をもってもらうように発信し取り組んでいます。　（放課後デイ　福島章）

4．生活介護事業

●大沢にじの里

活動場所の３密を避けるために、６月から活動グループを２つ新たに増加しました。「工房つむぎ（3F 生活リビング）と「工房すばる（1F 生活リビング）」の２つを増やし、これで事業所の全ての工房が８名以下での運営となり、利用者間の接触も出来るだけ防ぐことが出来ています。食事については対面を避け、出来るだけ分散する配列にし、必要な部分についてはパーテーションなども取り入れ、時差配膳しながら、密にならない環境を工夫凝らしながら構築しています。支給金余暇支援についても、調理余暇等を中心に、楽しみながら取り組む企画を実施してきました。７月からは安全が確認できる場所（近隣公園等）について運動散歩する機会も再開しています。今後も、感染予防の確実な実行を通じて、安全な日中活動支援サービスを提供していきます。

（生活介護大沢にじの里　新津健郎）

●にじアート

わっしー工房での食事の様子

工房において密状態を防ぐため、各工房利用者１０名以下になるように「みのり工房」を新設し５工房体制にしております。工房の机の配列に関しても利用者の方同士が対面とならないように「コの字型」の配置にし、食事を取る場所を新たに設けることで対面を極力避ける席の配置を取り、必要時は卓上のパーテーションを設置して飛沫飛散防止を図っています。

音楽・運動など室内での活動時においても適正な距離間を保ち、感染症予防を図りながらも利用者の方が楽しめる活動を提供しています。

（にじアート　時田秀明）

5．就労支援事業（未来工房・ハーモニー・ガーデン）

４月上旬より感染予防対策として在宅ワークと併用しながらの通所に変更致しました。通所後の手洗いと手の消毒を徹底し、未来工房の朝会は密を避け各工房朝会のみに変更しました。また昼食時はソーシャルディスタンス（社会的距離）を保つ座席を設定し、おやつ時間は工房内の少人数で過ごし帰所しています。３店舗ともレジ前にビニールを設置し、営業時間の短縮や喫茶レストランの閉鎖を行ってきましたが、６月より予防対策を徹底し、店内飲食も再開しています。

（未来工房にじ　村上道代）

6．地域貢献事業（大沢地区高齢者買い物送迎支援）

買物に困難がある高齢者向けの買物ツアーは３月から中止とし、買物代行に切り替えて実施しています。これは、週１回、１回あたり１０件程度、電話で生鮮食品、生活用品等の必要なものを聞き取り、スーパーやハーモニーで買物して高齢者宅へ届けています。利用者の皆さんから『助かるわ～』と大変、喜んでいただいています。また、生鮮野菜についてはハーモニー近くの八百屋さんにも協力をいただき小分けした状態で準備をしてもらっています。

７月より、買物代行は継続しつつ、感染防止と健康状態に配慮し、密を避けて安心して買物を楽しんでいただけるよう、買物先店舗を限定して週１回、１回あたり３名以内と少人数の参加者での買い物ツアーを再開して参ります。

（地域貢献事業 主任 木村高大）

社会福祉法人にじの会

２０１９年度事業報告及び決算報告

１．２０１９年度の事業概況について

２０１９年度は法人設立１８年目の年になります。改正社会福祉法に基づく法人組織運営を実施するとともに、以下のような法人及び施設運営の取組を行いました。
①地域貢献事業として三鷹市大沢地区の高齢者買物送迎支援を週３回実施する事業が３年目を迎え、東京都地域公益活動推進協議会の実践発表会で最優秀実践として特別賞を受賞いたしました。
②２０１９年度東京都女性活躍推進大賞で、にじの会の「働き続けやすい人事制度」が女性活躍に効果的と評価され医療福祉部門で優秀賞を受賞いたしました。
③２００９年に設定した中期計画「２０２０年のにじの会のあり方」の実施状況と達成差異を明確にし、次の中期計画設定の基礎とするため、中期計画総括を経営会議で作成しました。
④前年度から取組んでいる ICT プロジェクトを中心に、タブレット等を活用し自己表現ツール・自己選択ツールとして多くのアプリを使用した利用者支援の実践を進めました。1月の公開講座で実践発表も行いました。
⑤２年前から設置している人事制度プロジェクトを中心に、職員採用・能力向上・人事考課等の制度改善を進め、育休・介護休等の利用懇談会や各種交流会の開催等で協働意識の向上を進めています。
　以上のような法人・施設の取組を進めておりましたが、２月末の新型コロナウイルス感染の拡大により、にじの会もその対策を最重点に施設運営を切り替えて、施設内感染防止に取り組んでおります。

２．２０１９年度の決算について

　にじの会の２０１９年度決算の概況は以下の通りです。

①事業活動収支は、通常の運営状況を示す経常増減差額が３２２５万円の黒字で昨年より１９９万円減少しています。支援事業報酬は３３４０万円増加しましたが就労売上は3月のコロナ休業の影響で２５０万円の減少となり、人件費等の費用増３１４５万円と寄付金の減１７５万円をカバーできず黒字減少となりました。

②資金収支は、通常運営の収支を示す事業活動資金収支が７１１２万円の黒字で、９１４万円の設備投資と７２２万円のアート償還金による施設整備等資金収支の赤字１６３７万円を控除し、５４７６万円の当期資金収支黒字となっています。

③２０１９年度末の財政状態は、総資産２２億６７０７万円・負債２億２９１５万円・純資産２０億３７９２万円で、昨年より１６９５万円純資産が増加しています。

2019 年度決算報告

事業活動計算書

（自）2019年4月1日　（至）2020年3月31日

社会福祉法人にじの会

（単位：円）

勘定科目			金額
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	67,496,231
		障害福祉サービス等事業収益	980,157,500
		経常経費寄附金収益	4,300,400
		サービス活動収益計（1）	1,051,954,131
	費用	人件費	742,282,371
		事業費	122,782,831
		事務費	51,894,341
		就労支援事業費用	72,144,153
		減価償却費	54,544,840
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 19,968,460
		サービス活動費用計（2）	1,023,680,076
	サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）		28,274,055
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	1,572,644
		受取利息配当金収益	4,934
		その他のサービス活動外収益	9,929,937
		サービス活動外収益計（4）	11,507,515
	費用	支払利息	1,815,420
		その他のサービス活動外費用	5,715,810
		サービス活動外費用計（5）	7,531,230
	サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）		3,976,285
経常増減差額（7）＝（3）+（6）			32,250,340
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	7,440,000
		施設整備等寄附金収益	0
		その他の特別収益	0
		特別収益計（8）	7,440,000
	費用	基本金組入額	0
		固定資産売却・処分損	506,015
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	△ 149,957
		国庫補助金等特別積立金積立額	7,440,000
		その他の特別損失	0
		特別費用計（9）	7,796,058
	特別増減差額（10）＝（8）－（9）		△ 356,058
当期活動増減差額（11）＝（7）+（10）			31,894,282
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（12）		507,824,727
	当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）+（12）		539,719,009
	基本金取崩額（14）		0
	その他の積立金取崩額（15）		0
	その他の積立金積立額（16）		10,000,000
	次期繰越活動増減差額（17）＝（13）+（14）+（15）−（16）		529,719,009

資金収支計算書

（自）2019年4月1日　（至）2020年3月31日

社会福祉法人にじの会

（単位：円）

勘定科目			金額
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	67,496,231
		障害福祉サービス等事業収入	980,157,500
		借入金利息補助金収入	1,572,644
		経常経費寄附金収入	4,300,400
		受取利息配当金収入	4,934
		その他の収入	9,929,937
		事業活動収入計（1）	1,063,461,646
	支出	人件費支出	742,282,371
		事業費支出	122,782,831
		事務費支出	51,404,210
		就労支援事業支出	68,335,375
		支払利息支出	1,815,420
		その他の支出	5,715,810
		事業活動支出計（2）	992,336,017
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		71,125,629
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	7,440,000
		施設整備等寄附金収入	0
		施設整備等収入計（4）	7,440,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	14,660,000
		固定資産取得支出	9,146,440
		固定資産除却・廃棄支出	0
		施設整備等支出計（5）	23,806,440
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		△ 16,366,440
その他の活動による収支	収入	その他の活動による収入	0
		その他の活動収入計（7）	0
	支出	その他の活動による支出	0
		その他の活動支出計（8）	0
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		0
予備費支出（10）			
当期資金収支差額合計（11）＝（3）+（6）+（9）－（10）			54,759,189

前期末支払資金残高（12）	317,941,544
当期末支払資金残高（11）+（12）	372,700,733

貸借対照表

2020年3月31日現在

社会福祉法人にじの会

（単位：円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	499,093,702	流動負債	139,063,717
現金預金	342,674,699	事業未払金	95,556,865
事業未収金	144,895,406	1年以内返済予定設備資金借入金	14,660,000
未収金	222,950	未払費用	20,642,736
未収補助金	3,837,000	預り金	0
貯蔵品	211,766	職員預り金	8,204,116
原材料	1,157,520		
立替金	93,934		
前払費用	5,057,695		
前払費用（一年以内費用化長期前払費用）	831,732	固定負債	90,090,000
仮払金	111,000	設備資金借入金	90,090,000
固定資産	1,767,984,304		
基本財産	1,704,509,512		
土地	1,012,371,177	負債の部合計	229,153,717
建物	692,138,335		
その他の固定資産	63,474,792	純資産の部	
建物	10,317,121	基本金	823,715,694
構築物	13,547,490	1号基本金	799,615,694
機械及び装置	9,625,040	3号基本金	24,100,000
車輌運搬具	5,019,299		
器具及び備品	23,400,773	国庫補助金等特別積立金	674,489,586
建設仮勘定	0	20周年記念事業積立金	10,000,000
権利	196,800	次期繰越活動増減差額	529,719,009
長期前払費用	1,368,269	（うち当期活動収支差額）	(31,894,282)
		純資産の部合計	2,037,924,289
資産の部合計	2,267,078,006	負債及び純資産の部合計	2,267,078,006

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2020 年 6 月 27 日発行　SSKR 通巻第 8988 号

2019 年度の寄付金報告

多くの皆様のご寄付に心より御礼申し上げます。

社会福祉法人にじの会

＜ご寄付活用状況のご報告＞

２０１９年度は、5年毎の情報システム更新とハーモニーの豆富設備改善を中心に設備投資を行いました。その他にホーム空調省エネ化や厨房設備の更新等を実施しております。事業計画で予定していた防災対策の非常用発電設備は次年度以降に導入を繰り延べています。

１．情報設備関係	
端末 PC の更新	４，０９７千円
にじアート ICT 回線増設	５００千円
計	４，５９７千円
２．設備更新	
大沢にじの里厨房機器等	４８６千円
ホーム食洗器	１２７千円
計	６１３千円
３．環境改善	
大沢にじの里屋上倉庫	１４３千円
４．生産設備更新	
ハーモニー豆富製造設備等	３，１４８千円
５．省エネ設備	
ケアホームにじ空調	６４５千円
取得固定資産合計	９，１４６千円

この設備投資にあたっては、皆様のご寄附を充当させていただきました。

＜ご寄付の受入状況のご報告＞

２０１９年度のご寄付の総額は４３０万円余でございました。皆様の心温かいご支援に、にじの会一同心より御礼申し上げます。寄付者の皆様、本当にありがとうございました。

なお、ご寄付の受入状況は以下の通りとなっています。

にじの会後援会からのご寄付	１件	１，１００，０００円
一般の方々からのご寄付	１１１件	３，２００，４００円
寄付金合計	１１２件	４，３００，４００円

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2020 年 6 月 27 日発行　SSKR 通巻第 8988 号

寄付者一覧（２０１９年度）

皆様の御支援に心より御礼申し上げます。

（まことに勝手ながら敬称は略させていただいております）

<個人寄付>

相羽 忠秀	小林 長子	中山 暢子
青木 利泰	小松 輝男	新津 公夫
朝妻 榮子	近藤 信男	西廣 泰輝
畔上 和夫	斎藤 恵美子	蛭川 武人
熱田 世紀子	酒井 輝男	福田 晃
鮎瀬 典夫	佐々倉 順子	福田 美正
安齋 昌子	佐藤 良二	藤尾 誠
飯野 誠治	佐野 永尚	藤村 早苗
稲田 光子	宍戸 開蔵	藤本 邦之
井上 美穂	宍戸 幸介	藤原 伸介
伊深 孝子	篠 輝久	古川 啓
入野 浩一	四宮 光文	本間 明子
岩曽 聡	清水 良樹	前原 薫
宇田川 博	宗 玲子	正岡 清子
大野 公久	白石 徳夫	松井 弘
大野 まゆみ	鈴木 昭子	松田 吉央
岡田 修子	鈴木 靖子	松田 富喜恵
岡田 順一	鈴木 弥生	松本 敬三
小川 政子	瀬戸 良教	松本 浩生
尾木 由起子	薗田 重昭	松本 節子
尾崎 公子	髙月 広紹	宮原 三枝子
我生 精二	高橋 和一	村上 明子
影山 淑子	高橋 藏之助	八木澤 久雄
門脇 絹子	髙橋 尚子	矢崎 七三
金崎 将司	瀧澤 喜恵子	山口 時彦
河部 弘行	田中 晶子	山本 勝治
菊田 彰	谷合 登	山本 優子
木根渕 みどり	寺田 恵一	吉田 和己
木村 寛子	田 宰弦	吉田 裕
楠瀬 冨久子	得能 昭子	米本 ミツ子
倉持 清	飛田 勇	渡邊 昇一郎
栗原 久邦	中島 三和子	
河野 省子	長塚 博之	

<法人及び団体からの寄付 >

NPOアンリミテッド

大沢住民協議会　会長石崎　明

株式会社大沢ガーデン

株式会社ジェーシービー 広報部CSR室

相模トライアム株式会社

にじの会後援会

㈱アルマ

㈲御林商店

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2020 年 6 月 27 日発行　SSKR 通巻第 8988 号

にじの会 2020 夏 ギフトカタログ

新茶＆クッキー3種・
フルーツマフィンセット

商品番号 01 2,610 円

こだわりクリームチーズ豆乳プリン・
クッキー3種・フルーツマフィンセット

商品番号 02 2,400 円 冷蔵

マフィン2本＆クッキー3種セット

商品番号 03 2,460円

こだわりクリームチーズ豆乳プリン

04 6個入り 1,630 円
05 8個入り 2,090 円
06 10個入り 2,550 円

冷蔵

こちらの商品は袋包装でお届けします！

おまかせスモーク６種セット

商品番号 07 3,200円 冷蔵

おまかせスモーク５種＆マフィンセット

商品番号 08 3,780円 冷蔵

おまかせスモーク特選セット

商品番号 09 4,300 円 冷蔵

気軽だけどとっても喜ばれる♪
多摩のおみやげおまかせセット

商品番号 10 1,600 円 冷蔵

ご注文方法やカタログの詳細につきましては、「にじの会」ホームページ harmonygarden. Jp をご覧頂くか、下記までお問い合わせ下さい。

≪お問い合わせ先≫
ワークショップハーモニー　三鷹市大沢 1-1-43
TEL 0422-26-8620　FAX 0422-30-2021　担当：伊藤

『にじの会だより 74 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-007　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412